

『感じよう、山の恵み 森の恵み』

平成28年度「山の日」記念イベント

森林整備部 技術普及課

一昨年、国民の祝日に関する法律の改正により、8月11日が「山の日」として国民の祝日に制定され、いよいよ今年から祝日となりました。

制定の意義は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」としており、国民の皆様は山に親しむ機会を提供すべく、林野庁では全国的に「山の日」を記念したイベントを展開しました。関東森林管理局の管内でも各地域と協働して様々な「山の日」PRイベントを開催しましたので、その一部を紹介いたします。

○みんなの知らない高尾山の森林を森を守る人と歩くハイキング

豊かな自然を誇る高尾山ですが、一方で人工林も多く、国有林では林業的経営と併せ、登山者の利便と安全を調和させた森林管理を行っています。今回は平成18〜20年に実施した富士山への眺望に配慮した間伐、また平成23年の台風で折れたり倒れた樹木のその後の解説を聞きながら歩く、ハイキングツアーを開催しました。参加頂いた方は、普段登山をして



眺望に配慮した間伐箇所の説明

いても中々気がつかない国有林の仕事に、興味深そうに耳を傾けていました。

○赤谷の森に巨樹・巨木を見に行く

群馬県みなかみ町で地域や関係団体と連携した森林管理を行っている赤谷プロジェクト、そのフィールドを活用した自然散策ツアーを開催しました。



巨樹を囲んで解説

利根川の源流に当たる小出俣沢周辺は、数多くの巨樹・巨木があります。参加者はその木々を巡りながらカモシカの足跡や、貯められた栃の実など多くの生き物の痕跡を見つけ、豊かな赤谷の森や溪流の木々の大切さを体感していました。

この他、実施したイベントは関東森林管理局のホームページからご覧になることができます。

来年は第2回「山の日」記念全国大会が栃木県那須町で開催されることから、一層「山の日」の普及に努めていくこととしています。



今月の表紙 「会津森林管理署における民国連携の取組」

会津森林管理署では、南会津支署、福島県会津・南会津農林事務所と年2回の民国連携推進会議を開催し、会津地方における森林・林業に関する情報・意見交換を行い、林業・木材産業の更なる振興等に資するため、連携する事業等を検討・決定し実施しています。今年度は会津地方16市町村の林業関係者及び会津流域林業活性化センターに登録している林業事業者等を対象とし「木材利用の拡大に向けた現状と課題」についての講演会(写真左上)、列状間伐の現地検討会(写真右下)を開催しました。また、喜多方市は民国連携のケーススタディ地区に指定されており、局、署、県、喜多方市と連携し、共同施策団地の設定に向けて現地調査等を積極的に進めています。(写真左下)

